

# Nutrition News 4月

## しょうわ ひ さい 昭和の日に際して なつ きゅうしょくとくしゅう 懐かしの給食特集



我が国における学校給食は、明治22年に始まって以来、各地に広がっていききましたが、戦争の影響などによって中断されました。終戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化を背景に学校給食の再開を求める国民の声が高まり、昭和22年1月から学校給食が再開されました。子供たちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、学校給食は子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける為に重要な役割を果たしています。

### ①初期の頃の昭和・学校給食



終戦後、捕鯨が推進されていたこと、鯨肉は低カロリー、高蛋白なこともあり、よく使用され人気がありました。飲み物には脱脂粉乳が提供され、独特のおいがあるため、苦手な子供も多かったようです。また主食にパンが出されたことで、日本人の食生活を変えたとも言われています。

### ②中期の頃の昭和・学校給食



洋風化が進み、カレーライスやスパゲティなどのメニューがみられるようになりました。コッパンが主流だったパンのバリエーションも多様化し、揚げパンは大人気のメニューでした。その後、麺や米飯も導入されます。鶏肉や豚肉も良く提供されるようになり、飲み物も脱脂粉乳から牛乳に切り替わりました。

※写真、文：農林水産省HP

2026年4月1日 栄養管理室